

アイサワ工業(株).....	57, 62, 73
青木あすなる建設(株)...	57, 58, 59, 60, 62, 75
あおみ建設(株).....	57, 62, 75
(株)浅沼組.....	57
(株)新井組.....	57, 62, 75
(株)安藤・間.....	57, 62, 75
岩田地崎建設(株).....	54, 57, 62, 75, 93
梅林建設(株).....	57, 75
(株)大林組.....	57, 62, 75, 78
(株)大本組.....	57, 62, 75
(株)奥村組.....	27, 43, 57, 62, 75
鹿島建設(株).....	57, 62, 75
株木建設(株).....	57, 62
(株)クボタ.....	57, 62, 64
(株)熊谷組.....	24, 57, 62, 75
(株)鴻池組.....	57, 62, 75
五洋建設(株).....	57
佐藤工業(株).....	57, 62, 75
三幸建設工業(株).....	57, 62
清水建設(株).....	57, 62, 75
大成建設(株).....	57, 62, 75
大日本土木(株).....	57, 75
大豊建設(株).....	57, 62, 75
(株)竹中土木.....	57, 62, 75, 87
TSUCHIYA(株).....	57
鉄建建設(株).....	57, 62, 75
東急建設(株).....	57, 62, 75
東洋建設(株).....	57, 62, 75
戸田建設(株).....	57, 62, 75, 78, 90
飛鳥建設(株).....	24, 57, 62, 75, 85, 86
西松建設(株).....	57, 62, 75
日東河川工業(株).....	57, 62, 75
日特建設(株).....	57, 62, 75
日本基礎技術(株).....	57, 62, 75
日本国土開発(株).....	57, 62, 75
(株)ピーエス三菱.....	57, 62, 75
(株)フジタ.....	9, 57, 75
(株)北陽.....	3, 57, 62, 75
(株)本間組.....	57, 62, 75
前田建設工業(株).....	18, 20, 24, 57, 62, 75
松尾建設(株).....	57, 75, 94
三井住友建設(株).....	57, 62, 75, 85, 86
みらい建設工業(株).....	57, 62, 75
りんかい日産建設(株).....	57, 59, 60, 62, 75
若築建設(株).....	57, 62, 72, 73, 75

土地改良

第321号

令和5年4月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。

くろすおーばー

CROSSOVER

フィールド調査の学生を思い出される

国営事業地区フィールド調査学生支援事業として、ため池の管理について聞き取り調査の申し出があり、夏の暑い日(2021.8.18)に対応したこと、当該学生及び指導教授のお顔を思い出しました。

この調査に係わったものとして、報文という形で成果が確認できたことをうれしく思っています。

今回、多くの発表者がおられますが土地改良の世界でご活躍されることをご期待するものです。

兵庫県 60代男性 団体職員

池内教授の取組に感動

池内教授の記事を興味深く読ませていただきました。長期にわたって世の中の役に立つ形のあるものを残したいとの思いで進路を定め、実務では環境や事業評価に取り組み、また東日本大震災に際しての緊急対応とその後の防災対策の目標設定の考え方など、常に真摯に取り組まれたことに感動しました。聞き手の田野井氏とのやり取りから、土地改良と河川は良きライバルとして切磋琢磨するとともに、良き理解者として歩んできたのだなと改めて思いました。

東京都 60代女性 主婦

フィールド調査で興味深い結果が得られた

学生支援事業の11番目はため池の多い兵庫県の調査であり、販売農家率が高くなれば10年後のため池管理を担う人材が10人以下にならない傾向にあると

は将来にわたりため池を維持していくために興味深い結果が得られたように思います。

私も若手専業農家から「ため池や農道の草刈りに自分達しか来ない。(年寄りや兼業農家の参加者が少ない)」と聞かされたことを思い出しました。

また、市街化の進展する地域において今後5年間の運転資金が十分にある傾向とは、この地域のため池管理団体に何か農業外の収入があることを示しているのでしょうか。

人口減少傾向にある日本で、先人が苦勞してつくりあげた農地やため池を大切に残していくために、若い世代の農家が増えていく必要があると感じました。

大阪府 50代男性 地方公務員

農業農村整備事業の研究課題に取組学生を応援したい

国営事業地区等フィールド調査学生支援事業の研究結果報告はどのテーマも大変興味深かった。

10年前卒業論文に取り組んでいたころ、自分の研究内容と農業農村整備との係りがよく分からない部分もあった。

農業土木職となった今、研究テーマの一つ一つが農業農村整備と深く係り、更なる技術の向上を目指すものに映り、感慨を覚えた。

これからも多くの学生が、全国の農業農村整備事業のフィールドで研究課題に取り組んでいくことを応援したい。

これからも全国の土地改良事業にまつわる報文を本誌で読めることを楽しみにしています。

千葉県 30代女性 地方公務員

本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます)。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「軽井沢いちご工房の夏秋いちご」をご用意しております。[5月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係

メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

PRESENT

軽井沢いちご工房の「夏秋いちご」

